



南 部

■ 編集発行 ■
 寒河江市立南部小学校
 P T A 広報部
 ■ 印刷 ■
 寒河江印刷(株)



二組とのハンドベースボール

二年 高谷 将汰

「勉強終わります。」

ボールを持って とび出した

体育館まで 急ぎ足

話し合って決めただ

今日は二組との勝負だぞ

ぼくたちは 負けた また負けた

このごろずっと 負けばかり

勝つ日のほうが少ないんだ

「おれたち、また、負けた。」

みんなとてもくやしそう

今日こそ勝つぞ ぜったい勝つぞ

ほんとに勝った あっ勝た

「やったね。」「やったね。」「やったね。」

教室に着くまで

みんなしゃべりどおしだった



広報「南部」100号に寄せて

100号記念に寄せて



主任 児童委員
土田 タミ子

広報「南部」100号誠におめでとございます。これまでの長い道程を振り返ってみますと、その時代その時代のテーマに添った担当者の

工夫の跡がうかがわれます。継続して発行する意義深さを感じ、改めて感謝申し上げます。社会情勢が日々目まぐるしく変化する現在、この南部地区は幸いにもこれといった大きな事件事故もなく過

ごす事ができ、これも、地域の方の大きな見守りがあるからだと感じております。各種団体における協力がなければ、南部のより良い環境も生まれないのではないのでしょうか。学校・家庭・地域三者の連携がとても大事な事を、もう一度再認識する必要がありますのではないのでしょうか。広報を通じてPTAの方々となる地域との絆を期待しております。最後に南部つ子の将来の夢を託し、「人間夢を持つ事」アメリカ新大統領の言葉を贈ります。

南部の思いを活字に込めて



教頭 小山 三枝子

今回PTA広報「南部」が百号を迎えたとのこと、誠にありがとうございます。百回分の広報には、南部小の歴史が刻まれています。その思いが、南部小を支えてきてくれています。

さて、私は、高校三年間、文芸編集部に所属しました。表現するまでの苦しみが大きい分、活字になった喜びは何にも代え難いものがありました。詩人「丸山薫」の足跡を訪ねて岩根沢で取材をしてきたことは、今でも深く心に残っています。本校の校歌は、「丸山薫」の作詞によるものです。校歌を聞いたたび、「丸山薫」に思いを馳せています。活字には、大きい力があります。

その力を上手に生かす、広報「南部」がこれからです。回を重ねていくよう、応援していきたいと思



「いのち」と向き合って



フラワークラブ会長
高橋 博

南部小ボランティアクラブフラワークラブの活動も今年で十三年目を迎えます。これまで活動を支えて頂いた沢山の皆様方に感謝いたします。

小さな掌で小さな種「いのち」をまき、芽が出て花が咲き、やがて実をつけ、次の世代に「いのち」を引き継ぐために深い眠りに入る、精一杯生きる植物達の小さな「いのち」に精一杯向きあう子ども達。その様々な場面で、たくさんの方の感動を共有することが出来ました。

植物は言葉を発することはもちろん、自ら動くこともできません。子ども達にとって自分と違う「いのち」があるという事、そしてひとつのことに長い時間、忍耐強くかわり続ける大切さを、これらから植物を通して、子ども達と共に大地のキャンバスに描き続けられればと思います。





親子で体験!!

学年行事

1年

親子でこんにやく作り

第一学年委員長 岩松 淑宏

十一月二日(日)に南部小体育館で、渋谷常浩先生を講師に迎え学年行事「親子でこんにやく作り」が開催されました。参加者は百九名でした。まず蒟蒻粉を水に入れて親子一緒にかき混ぜ、暫くねかせます。その間ゲームで親子対決です。一時間後ソーダ水を入れ再びかき混ぜると、蒟蒻独特の匂いがして、そこかしこから声が上がりました。

最後に、玉にまるめて一メートルもある大鍋で煮て、特製の豚汁とおにぎりで昼食です。蒟蒻も豚汁も食べきれないほどで、みんな笑顔一杯で、大満足の一日となりました。



2年

チャレンジ

第二学年委員長 今井 善明

学年行事は、芋掘り、芋煮会と牛乳パックで作るハガキ作りです。ハガキ作りは、初めての取り組みで、役員一丸となりタイムスケジュールを作成、不安を胸に「チャレンジ」です。

杵をナイフで切ったり、網を楊枝で押さえたり、家族で共同作業したりしながら作りました。最初はうまく同じ厚みになりませんが、回を重ねることに上手になり、落ち葉や絵の具で色を付けるなど「ちよっとたのもしい職人さん」に見えました。みなさんのおかげで無事乗り切ることができました。ありがとうございます。子ども達の笑顔と芋煮にとろけた一日でした。



3年

自転車を安全に乗ろう

第三学年委員長 大谷 吉彦

三年生頃から自転車に乗り始める子どもが多い事から、寒河江自動車学校を会場に、親子で自転車の安全な乗り方を教えて頂きました。当日の朝、不安を抱えて登校してきた子ども達もいましたが、交通安全教室が終わって小学校に戻る時には、全員元気にベダルをこいでいました。

子ども達には、今回の交通安全教室で学んだ事を忘れずに自転車を乗ってもらいたいと思います。参加頂きました保護者の皆様、事前準備や当日の交通誘導等に協力頂きました先生方、役員の皆様、大変お疲れ様でした。



4年

フットパスを歩いて

第四学年委員長 荒木 文明

四年生は、フットパスを通して、南部地区の歴史や文化、自然などを楽しみました。島、高屋、皿沼の三つのコースを親子で歩きました。普段通ることのない畦道や小さな神社など親にとってはなつかしい風景、子ども達には薄暗い天神社境内、泉蓮寺の仏足跡や白山神社の大杉など新たな発見もあつたようです。南部地区は広いと思っていたのですが、子ども達の歩く速さに圧倒されました。この自然豊かな風景を大切にしたいので、親子で大人になってから再びフットパスを楽しんでみたいと思います。



5年

秋の収穫祭

第五学年委員長 森田 哲

十一月十五日(土)に、南部小体育館で収穫祭を行いました。内容は、昨年と同様にしめ飾り作りとトン汁・おにぎり作りです。

しめ飾り製作で一番苦労していたのは、わらなう作業でした。作業時間も予定より過ぎてしまいました。しかし、苦労しただけあって、子ども達も保護者の方も、出来上がりには喜んでいました。あと、作業風景等を市報と山新に載せていただいたので、子ども達も喜んでくれたのだと思います。

保護者、役員の皆様、ご協力ありがとうございました。



6年

月山トレッキング

第六学年委員長 工藤 賢治

十月十一日、学年行事の「月山トレッキング」が行われました。紅葉の中のトレッキングを期待していましたが、当日はあいにくの雨。当初予定していたコースを変更してのものとなりました。

雨に風に霧と天候に恵まれず寒い中でしたが、自然の厳しさの中で元気に歩く、たくましく成長した子ども達の姿に驚き、また、周囲を気づかうやさしさに触れることができた行事でもありました。

お忙しい中、参加して下さいました保護者の皆さん、先生方本当にありがとうございます。



順調に進んだ環境整美

環境整美部長 古城 武志

環境整美部としての活動は、例年通りに学校施設周りの樹木消毒及び枝切り作業等とPTA早朝作業の手伝いになります。樹木消毒作業等は、六月上旬に実施して晴天にも恵まれ作業もスムーズに進み予定より短時間で終了できました。枝切りも事前に学校側(用務員さんより)が大変なところを伐採してくれましたので、怪我なく作業も出来ました。また、消毒作業は環境整美部員の中で動噴機械を持っている方に協力して頂き大変助かりました。今後は動噴機械を持っている方の把握が必要ではないかと思えます。

早朝作業の日は降雨により外での作業が中止になり、一く六学年保護者全員が校舎内の作業になりました。環境整美部としてはピオトップ草刈り作業する予定でした。校舎内の作業でも怪我等の事故がなく進んだことは良かったと思えます。



熱い応援をありがとう

体育部長 武田 孝志

体育部の二大事業の一つ、すもう大会は、残念ながら雨降りの肌寒い日でした。が、家の方の多数の声援に子ども達も頑張って取り組む事ができました。特に本土俵での高学年の取組は迫力があり、素晴らしきものばかりでした。

九月の大運動会では晴天に恵まれ大変盛り上がりました。みなさんの熱い応援で子ども達は練習の時以上の走り！チームワーク!!を發揮できたように思います。

一年間、皆様の多大なご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

専門部会 一年を振り返って

笑顔の一年を喜んで

生活部長 高橋 寛

例年とほぼ同じ内容を、ほぼ同様のスケジュールで終えることができました。保護者や先生方、地域の皆さんの御協力のおかげと思ひ、感謝いたします。世の中が、ギスギスした空気に満ちている今こそ、子どもとお年寄りが笑顔でいられるかどうか、社会に求められる『生きやすさのバロメーター』ではないかと思ひますが、幸いに南部っ子と南部地区の見守り隊の方々の笑顔は、今年も健在であったことを、皆様とともに喜びたいと思ひます。



みなさんの協力あつてこそ

母親委員長 大竹 綾子

リサイクルバザー、図書書の補修と整理、「うたとお話を楽しむ会」。この三つが、今年度の中心の活動でした。どの活動も、準備や声かけは母親委員会ですべていたたくもの、いざ当日はPTAの皆さんの協力や参加なくしては成り立たないものばかりです。

バザー開始よりも早くから待つて下さった方。暑い中での図書整理を積極的に手伝って下さった方。『歌と語り』の会には、親子でたくさんの方が参加してくれました。みなさんに協力いただいたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。



編集後記

私が広報部の編集に携わつて六年目、広報「南部」の記念すべき一〇〇号を発行することになりました。先日、編集会議の中でこれまでの広報紙の歩みを取り入れてはどうだろうかとの意見もあり創刊号はいつなんだろうかと調べてみると、六五号からの広報紙の保存しがなく、この企画は諦めるしかありませんでした。平成六年以降の残っている広報紙を見ても、学期ごと三回発刊の年もあり、皆目見当がつきません。地域の皆様にお願ひですが、南部小PTAのこれまでの学校活動を保存する意味でも押入れの奥にあるかもしれない。それ以前の広報紙がありましたら譲つては頂けませんでしょうか。広報部宛てにお待ち致しますのでよろしくお願ひ致します。

最後に、広報南部にご投稿頂きました皆様には心から感謝申し上げます。これからの南部小の益々の発展を期待し編集後記とさせていただきます。

広報部長 工藤 孝